



2019年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セプテーニ・ホールディングス
 コード番号 4293 URL <https://www.septeni-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 グループ社長執行役員 (氏名) 佐藤 光紀
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 次長 (氏名) 呉 鼎 TEL 03-6857-7258
 四半期報告書提出予定日 2019年2月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・報道関係者向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績（2018年10月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		Non-GAAP営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	4,075	1.2	408	△41.3	459	△34.7	404	△52.6	238	△57.1	235	△57.7
2018年9月期第1四半期	4,028	12.3	694	△9.9	702	△13.8	853	14.1	555	△60.9	555	△60.6

(注) Non-GAAP営業利益は、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標であります。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	1.86	1.85
2018年9月期第1四半期	4.39	4.37

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	33,777	15,576	15,565	46.1
2018年9月期	33,371	15,730	15,672	47.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	—	—	2.00	2.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	収益		Non-GAAP営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	12.6	2,000	97.8	1,300	53.4	10.28

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 連結業績予想に関する詳細は、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期1Q	138,856,500株	2018年9月期	138,856,500株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	12,463,360株	2018年9月期	12,463,360株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期1Q	126,393,140株	2018年9月期1Q	126,356,656株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(2) 配当予想金額について

2019年9月期の配当予想については、現時点では未定であり、金額が決定次第、速やかに公表させていただきます。

(3) 決算補足説明資料の入手方法

当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ウェブサイトに掲載いたします。また、決算説明会の動画等については、後日当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

・2019年1月31日（木）・・・機関投資家・アナリスト・報道関係者向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結純損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
①継続企業の前提に関する注記	10
②会計方針の変更	10
③セグメント情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下「当四半期」という。)において、主力のネットマーケティング事業では、国内市場において顧客数の増加や大型顧客との取引拡大により収益が順調に拡大いたしました。海外市場では北米地域において好調な推移をしている一方、アジア圏は低調な推移となりました。メディアコンテンツ事業では、マンガアプリ「GANMA!」を中心に各事業の成長により大幅な増収となり、赤字幅が縮小いたしました。

これらの結果、収益は4,075百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業利益は408百万円(前年同四半期比41.3%減)、Non-GAAP営業利益は459百万円(前年同四半期比34.7%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は235百万円(前年同四半期比57.7%減)となりました。

当社グループは、経営者が意思決定する際に使用する社内指標(以下、Non-GAAP指標)及びIFRSに基づく指標の双方によって、連結経営成績を開示しております。Non-GAAP営業利益は、IFRSに基づく営業利益から、一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標であります。経営者は、Non-GAAP指標を開示することで、ステークホルダーにとって同業他社比較や過年度比較が容易になり、当社グループの恒常的な経営成績や将来の見通しを理解する上で有益な情報を提供できると判断しております。なお、一時的要因とは、将来見通し作成の観点から一定のルールに基づき除外すべきと当社グループが判断する減損損失、固定資産の売却損益等の一過性の利益や損失のことであります。さらに、財務諸表利用者にとって有用であると考えていることから、IFRSに準拠した開示ではありませんが、全ての取引について総額により表示した収益を「売上高」として任意開示しております。

営業利益からNon-GAAP営業利益への調整及び売上高は次のとおりであります。

(単位:百万円)

	前年同四半期 (前第1四半期連結累計期間)	当四半期 (当第1四半期連結累計期間)	増減額	増減率
営業利益	694	408	△286	△41.3%
調整額	8	51	43	
Non-GAAP営業利益	702	459	△243	△34.7%
売上高	18,665	19,343	678	3.6%

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ネットマーケティング事業

インターネットを活用した包括的なマーケティング支援サービスを企業向けに展開しております。

当四半期においては、国内市場における顧客数及び大型顧客の出稿が順調に増加いたしました。海外市場では北米地域は好調な一方、アジア圏では低調な推移となりました。

これらの結果、収益は3,734百万円(前年同四半期比1.9%減)、Non-GAAP営業利益は1,242百万円(前年同四半期比15.5%減)となりました。

② メディアコンテンツ事業

マンガアプリ「GANMA!」を展開するマンガコンテンツ事業の他、採用プラットフォーム事業、社会貢献プラットフォーム事業、医療プラットフォーム事業、育児プラットフォーム事業等が属しております。

当四半期においては、マンガコンテンツ事業における「GANMA!」の規模拡大を目的としたプロモーションを継続的に実行し、「GANMA!」の累計ダウンロード数は2018年12月末時点で約1,150万件となりました。販促費用の増加を増収でカバーし、赤字幅が縮小いたしました。

これらの結果、収益は416百万円(前年同四半期比38.1%増)、Non-GAAP営業損失は291百万円(前年同四半期は303百万円のNon-GAAP営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期の資産は、前連結会計年度に比べて406百万円増加し、33,777百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が263百万円減少した一方で、営業債権が739百万円増加したことによるものであります。

当四半期の負債は、前連結会計年度に比べて560百万円増加し、18,201百万円となりました。これは主に、未払法人所得税が183百万円減少した一方で、営業債務が595百万円、その他の流動負債が212百万円増加したことによるものであります。

当四半期の資本は、前連結会計年度に比べて154百万円減少し、15,576百万円となりました。これは主に、四半期利益を238百万円計上した一方で、配当金の支払256百万円が発生したことによるものであります。

[キャッシュ・フローの状況]

当四半期における「現金及び現金同等物」は前連結会計年度に比べて263百万円減少し、14,660百万円となりました。当四半期における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当四半期における営業活動の結果、636百万円の資金流入（前年同四半期は142百万円の資金流入）となりました。これは主に、法人所得税の支払い150百万円があった一方で、運転資本357百万円の増加及び税引前四半期利益404百万円を計上したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当四半期における投資活動の結果、140百万円の資金流出（前年同四半期は217百万円の資金流入）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出106百万円が発生したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当四半期における財務活動の結果、723百万円の資金流出（前年同四半期は435百万円の資金流出）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出275百万円、長期借入金の返済による支出192百万円及び配当金の支払い256百万円が発生したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月30日に公表した2019年9月期連結業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期 連結会計期間 (2018年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	14,922,272	14,659,646
営業債権	10,144,715	10,883,680
棚卸資産	10,072	10,245
その他の金融資産	119,284	72,171
その他の流動資産	1,027,049	938,938
流動資産合計	26,223,392	26,564,680
非流動資産		
有形固定資産	493,547	473,411
のれん	1,831,176	1,789,738
無形資産	173,666	160,503
持分法で会計処理されている投資	1,827,963	1,838,412
その他の金融資産	2,141,378	2,277,424
その他の非流動資産	6,674	5,844
繰延税金資産	673,444	666,775
非流動資産合計	7,147,848	7,212,107
資産合計	33,371,240	33,776,787

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期 連結会計期間 (2018年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	9,112,773	9,707,321
その他の金融負債	1,800,640	1,880,842
未払法人所得税	187,769	4,559
その他の流動負債	1,588,865	1,800,405
流動負債合計	12,690,047	13,393,127
非流動負債		
その他の金融負債	4,624,078	4,470,587
引当金	109,455	109,451
繰延税金負債	217,626	227,861
非流動負債合計	4,951,159	4,807,899
負債合計	17,641,206	18,201,026
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	2,120,484	2,120,484
資本剰余金	3,663,023	3,663,023
自己株式	△1,691,819	△1,691,819
利益剰余金	11,493,305	11,471,870
その他の資本の構成要素	87,244	1,471
親会社の所有者に帰属する 持分合計	15,672,237	15,565,029
非支配持分	57,797	10,732
資本合計	15,730,034	15,575,761
負債及び資本合計	33,371,240	33,776,787

(2) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
収益	4,027,660	4,075,494
売上原価	583,361	673,235
売上総利益	3,444,299	3,402,259
販売費及び一般管理費	2,742,091	2,947,391
その他の収益	2,749	16,997
その他の費用	10,629	64,356
営業利益	694,328	407,509
金融収益	52,182	12,127
金融費用	26,217	26,210
持分法による投資利益(△は損失)	132,294	10,820
税引前四半期利益	852,587	404,246
法人所得税費用	297,530	166,118
四半期利益	555,057	238,128
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	554,945	234,830
非支配持分	112	3,298
合計	555,057	238,128
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	4.39	1.86
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	4.37	1.85

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期利益	555,057	238,128
その他の包括利益		
純損益に組替調整されない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	10,383	△1,997
純損益に組替調整される可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	39,429	△77,732
キャッシュ・フロー・ヘッジ	2,016	△5,673
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△371
その他の包括利益合計(税引後)	51,847	△85,773
四半期包括利益合計	606,904	152,355
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	606,792	149,057
非支配持分	112	3,298
四半期包括利益	606,904	152,355

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	合計		
2017年10月1日時点の残高	2,113,611	3,647,815	△1,691,818	11,018,315	84,355	15,172,278	51,254	15,223,532
四半期利益	—	—	—	554,945	—	554,945	112	555,057
その他の包括利益	—	—	—	—	51,847	51,847	—	51,847
四半期包括利益合計	—	—	—	554,945	51,847	606,792	112	606,904
新株発行	275	275	—	—	△539	11	—	11
剰余金の配当	—	—	—	△409,904	—	△409,904	—	△409,904
支配喪失を伴う子会社に対する 所有者持分の変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	1	△1	—	△131	△131
所有者との取引額等合計	275	275	—	△409,903	△540	△409,893	△131	△410,024
2017年12月31日時点の残高	2,113,886	3,648,090	△1,691,818	11,163,357	135,662	15,369,177	51,235	15,420,412

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	合計		
2018年10月1日時点の残高	2,120,484	3,663,023	△1,691,819	11,493,305	87,244	15,672,237	57,797	15,730,034
四半期利益	—	—	—	234,830	—	234,830	3,298	238,128
その他の包括利益	—	—	—	—	△85,773	△85,773	—	△85,773
四半期包括利益合計	—	—	—	234,830	△85,773	149,057	3,298	152,355
新株発行	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△256,265	—	△256,265	—	△256,265
支配喪失を伴う子会社に対する 所有者持分の変動	—	—	—	—	—	—	△50,363	△50,363
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	—	△256,265	—	△256,265	△50,363	△306,628
2018年12月31日時点の残高	2,120,484	3,663,023	△1,691,819	11,471,870	1,471	15,565,029	10,732	15,575,761

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	852,587	404,246
調整項目：		
減価償却費及び償却費	53,937	52,589
受取利息及び受取配当金	△5,963	△539
支払利息	8,216	9,614
持分法による投資損益(△は益)	△132,294	△10,820
その他	△38,197	△17,047
運転資本の増減：		
営業債権の増減額(△は増加)	88,240	△738,964
棚卸資産の増減額(△は増加)	139	△172
営業債務の増減額(△は減少)	△187,484	606,341
その他	△197,144	489,402
小計	442,037	794,650
利息及び配当金の受取額	5,963	539
利息の支払額	△8,255	△9,411
法人所得税の支払額	△297,700	△149,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	142,045	636,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△271,598	△105,840
有形固定資産の取得による支出	△13,951	△18,851
無形資産の取得による支出	△35,674	△17,948
関連会社株式の売却による収入	371,512	—
その他	166,673	3,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	216,962	△139,532
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	—
短期借入金の返済による支出	△275,099	△275,099
長期借入金の返済による支出	△249,999	△191,668
配当金の支払額	△409,904	△256,265
非支配持分への配当金の支払額	△130	—
その他	11	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435,121	△723,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,075	△36,294
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△41,039	△262,626
現金及び現金同等物の期首残高	15,519,366	14,922,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,478,327	14,659,646

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

①継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

②会計方針の変更

当社グループが要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、以下の基準書及び解釈指針を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した重要な会計方針と同一であります。また当社グループが、当該基準書及び解釈指針を適用したことによる、当要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

基準書及び解釈指針		強制適用年度 (以降開始年度)	当社グループ 適用時期	概要
IFRS第15号	顧客との契約から生じる収益	2018年1月1日	2019年9月期	顧客との契約から生じる収益認識に係る会計処理

③セグメント情報

イ. 報告セグメントの概要

当社グループは、当社を株式会社とし、当社の子会社（又はそのグループ）を事業単位とする持株会社体制を採用しております。収益獲得に関する直接的な活動は、専ら当社の子会社（又はそのグループ）から構成される事業単位によって行われます。

当社グループの報告セグメントは、事業単位の中から、分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に、各事業セグメントの経済的特徴の類似性及び量的重要性等を考慮し、当社グループの事業活動及び事業を行う経済環境の性質や財務的な影響を財務諸表利用者が適切に評価できるよう、「ネットマーケティング事業」及び「メディアコンテンツ事業」の2つの報告セグメントに集約・区分して開示しております。

i. ネットマーケティング事業

インターネット広告の販売、クラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等のマーケティングプラットフォームの運営等、企業向けのインターネットマーケティング支援全般の事業を営む単一の事業セグメントから構成されています。

ii. メディアコンテンツ事業

マンガコンテンツ事業、採用プラットフォーム事業、社会貢献プラットフォーム事業、医療プラットフォーム事業、育児プラットフォーム事業等、複数の事業セグメントから構成されています。メディアコンテンツ事業には、将来の収益獲得に向けた投資が先行しているため収益獲得に至っていない創業直後の事業単位を含んでおり、このような事業単位については、最高経営意思決定者は、将来の収益を通じて投資コストを回収できるというリスク及び経済価値を前提に、経営資源の配分の決定及び業績の評価を行っております。

ロ. 報告セグメントの損益の測定に関する事項

セグメント利益は、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整したNon-GAAP営業利益を使用しております。

なお、当社グループは、全ての取引について総額により表示した収益を「売上高」として任意開示しております。売上高は、IFRSに準拠した開示ではありませんが、経営者は当該情報が財務諸表利用者にとって有用であると考えていることから、経営成績に関する説明及びセグメント情報に参考情報として任意で開示しております。

報告セグメント間の取引における価格は、外部顧客との取引価格に準じて決定しております。

ハ. 報告セグメントの損益に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

(単位:千円)

	ネット マーケティング	メディア コンテンツ	合計	調整額 (注)2	連結
セグメント収益	3,805,036	301,118	4,106,154	△78,494	4,027,660
セグメント利益又は損失 (△は損失)(注)1	1,469,990	△303,097	1,166,893	△464,493	702,400
セグメント売上高	18,681,639	301,118	18,982,757	△317,641	18,665,116

(注)1 セグメント利益は、Non-GAAP営業利益を使用しております。

2 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

(単位:千円)

	ネット マーケティング	メディア コンテンツ	合計	調整額 (注)2	連結
セグメント収益	3,733,605	415,713	4,149,318	△73,824	4,075,494
セグメント利益又は損失 (△は損失)(注)1	1,242,000	△290,898	951,102	△492,113	458,989
セグメント売上高	19,168,888	415,713	19,584,601	△241,509	19,343,092

(注)1 セグメント利益は、Non-GAAP営業利益を使用しております。

2 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

セグメント損益から税引前四半期利益への調整表

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
セグメント利益	702,400	458,989
その他の損益(純額)	△8,072	△51,480
金融損益(純額)	25,965	△14,083
持分法による投資利益(△は損失)	132,294	10,820
税引前四半期利益	<u>852,587</u>	<u>404,246</u>